



ほけんだより



第73号

平成18年12月

子育て施設課
電話 0823-25-3144

おうとげりしょう 【嘔吐下痢症】

病原体が消化器に感染して胃腸炎を起こしたものを感染性胃腸炎といますが、そのなかで特にロタウイルスによるものは、冬に流行し、嘔吐が激しく白い下痢便を呈するといった特徴がみられ、以前から嘔吐下痢症とか白色便性冬期下痢症などと呼ばれていました。最近ではロタウイルスに限らず、ノロウイルスなど同様の症状を起こすウイルス性の感染性胃腸炎を嘔吐下痢症と呼ぶことが多いようです。

感染経路は？

ふんこうかんせん
糞口感染（便や吐物の中に存在するウイルスが手などを介して口に入って感染する）が主で、潜伏期間はウイルスにより異なりますが、ロタウイルスでは24時間～72時間。発症後少なくとも1週間は糞便中にウイルスが排泄され感染源となります。ノロウイルスでは、吐物や便が乾燥しての飛まつ感染もあります。

症状は？

- 嘔吐……下痢に先行して嘔吐がみられることが多く、それまで元気だった子どもが急に吐きはじめ、たいていは1～2日で治まります。
- 下痢……典型的な嘔吐下痢症の時の下痢は、すっぱい酸性臭があり、ドロドロ～水様の便で、レモン色～白色調を呈します。血便を伴うことはほとんどありません。下痢は通常一週間程度続きます。
- 発熱……熱はこの疾患児の半数ほどでみられ、乳幼児期ほど発熱する頻度が高くなります。微熱から高熱まで程度は様々ですが、通常は2～3日で解熱します。
- けいれん……乳児期にロタウイルスにかかった場合、けいれんを起こすことがあります。これは良性的のけいれんであって一過性のものです。



手当て

- ◎ 一番大切なことは水分を補給して脱水症にならないようにすることです。嘔吐が激しく経口摂取が困難な場合は、点滴による補液が必要となります。
- お尻はお湯で洗い流すなどして、おむつかぶれができないように気をつけましょう。



下痢の時に避けた方がよい食品

	避けた方がよい食品
穀類	すし、中華めん、玄米
イモ類	さつまいも、こんにゃく
豆類	大豆、小豆、油揚げ、がんもどき
野菜類	繊維の多い野菜 たけのこ、ごぼう、レンコン、ふき、 強い香りを持つ野菜、キノコ類
果実類	柑橘類、梨、イチジク、イチゴ、パイナップル、干した果物、 スイカ
魚介類	脂肪の多い魚など 鰯、秋刀魚、鯖、干物、貝類、つくだ煮類、かまぼこ類
卵類	生卵、固ゆで卵
肉類	脂肪の多い肉、肉加工品 ロース、ばら肉、ハム、ベーコン、ソーセージ
油脂類	ラード、てんぷら、フライ
菓子類	ケーキ類、せんべい、ナッツ類
飲み物	炭酸飲料、オレンジ果汁、ココア、コーヒー、紅茶、
その他	海藻類、漬物、塩辛